小池知事は築地の移転で方向性を示せ

築地市場の豊州への移転問題を巡って、東京都の小池百合子知事が設けた「市場問題プロジェクトチーム」が報告書案をまとめた。豊州に移るのではなく、現在地で建て替えをする案を推している。

これで移転の是正を判断する材料はほぼ出揃ったといえる。この問題への都民、国民の関心は大きい。小池知事は早期に方向性を示すべきだ。

２３日に告示される都議会議員選挙でも築地問題は大きな争点になる。都議会の自民や公明は豊州移転を支持し、共産などは築地での再整備を求めている。

小池知事が代表に就任した都民ファーストの公約では「総合的に判断し、知事の立場を尊重する」と触れているだけだ。これでは有権者は選択できない。

豊州市場の地下水の調査では依然として環境基準を大幅に上回る有害物質が検出されている。ただし、この基準は地下水を飲水に使用する場合の目安だ。豊州では食品の洗浄すら使わないから、安全性に欠けるわけではない。

しかし、消費者の感情に配慮すれば、追加的な対策をしたうえで移転する必要がある。豊州市場の汚染対策を検討している都の「専門家会議」はすでに、盛土がない地下空間をシートなどで覆うなどの案を示している。開場後の赤字を小さくする対策も当然要る。

一方、市場問題チームが今回示した築地で再整備する案は問題点が多い。報告書では一例として工期を七年、費用を約８８０億円としたが、極めて甘い試算だ。

築地には戦後、進駐軍向けのクリーニング工場などが立地し、都の簡易調査ですでに環境基準を超える有害物質が検出されている。今後、地下深くまで掘る本格的な調査をする予定になっている。

再整備する場合、築地でも豊州と同じように汚染対策が必要になるだろうが、其の時間や費用を十分に含んでいない。そもそも、市場関係者の理解を得るだけで相当な時間を必要だろう。

小池知事が指摘するように、様々な観点から卸売市場のあり方を検討することが悪いわけではない。一方で、市場内の6棟の建物は耐震性に欠けており、大規模な地震が発生すれば倒壊するおそれがある点も考慮すべきだ。

現状を見る限り、市場関係者の亀裂がますます深まっている。都議選後に問題を先送りすることは責任ある態度とは言い難い。